

みいよく通信

「魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会」の報告について

- ・ 標記研修会が、令和3年10月22日（金）に市役所本庁舎14階14大会議室にて45名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 2つの事例発表と、2つのテーマでの情報交換を行い、それぞれについて、（一般社団法人）とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬先生からコメントをいただきました。

1-1 事例発表① 「平石中央小学校地域協議会の取り組み」

平石中央小学校 副校長 津久井 文 氏

① あいさつ運動



地域の方と
元気なやり
とり

② グリーンカーテンの 設置



教職員の手が回りに
くい夏季休業中まで
冬瓜の水やり

④ ディスプレイ



日持ちのいいかぼちゃに、季節に合わせた装飾
秋：ハロウィン
1月：干支にちなんだ牛
2月：節分にちなんだ鬼
3月：イースターにちなんだうさぎ



③ “おはなしポプラさん”



絵本の
読み聞かせ

⑤ 手持ち・打上げ花火



今年度は130発打ち上げ。
地域の方から奉仕・協賛金を集めて開催。協賛金は年々増加

⑥ 焼き芋の会



土曜授業の日に開催。
薪で芋を焼きつつ、空き時間は校外に置くプランター作り。
生徒の下校時に合わせて焼き芋を配布。

⇒ モットーは、「無理なく、楽しく行う！！」

1-2 事例発表② 「地域未来塾」

瑞穂野中学校 地域連携教員 松儀 猛 氏

- 内容：生徒は自主学習。その様子を見て声掛けや指導を行う。
- 場所：地区市民センター（学校から徒歩2分の所に立地。部屋には50名分の席があり、生徒同士の距離を十分に取れる。）
- 令和2年度**→コロナにより中止
 - 支援員（地域の方1名、宇都宮大学生2名）を確保できていた。
 - コロナ禍で学習に不安を感じる生徒20名も参加表明してくれていた。必要な活動だと改めて認識。
- 令和3年度**
 - 支援員：地域の方1名、地域連携教員1名、SCM（School Counseling Manager）1名
地域の方は、民間企業勤務の技術職。コロナ禍後のテレワーク等により、参加しやすくなったとのこと。
 - 生徒の参加者：前期6名、後期7名
- 今後の課題：（1）支援員の確保 （2）コロナ禍で、どのように子どもと大人を集めるか

学校から徒歩2分の好立地



2-1 グループ別情報交換会 「コロナ禍における地域協議会活動について」

- なかなか活動できないので、見守りや農園活動、あいさつ運動、顔合わせなど、各地域で判断し、できる範囲で行っている。
- 小規模校では、規模の小ささを生かし、できる活動を学習と結び付けるなどして実施（グランドゴルフ、風車づくり、昔遊び など）



- 一度、「やらなくていいよね」との意見が優勢になると、つながりが薄くなり、次に何かをするときに見つけるのが難しい。対策してできることをやった。
- コロナ禍でどこまで対応するか。コロナ禍だからこそ、活動を見直し、気づいたこともある。
- PTAや地区市民センターとの連携、コーディネーターの紹介をしっかりとすると良い。

2-2 グループ別情報交換会 「学校行事への地域協議会の関わりについて」

- 学校行事の中止、学校のみで実施となった行事が多い（式典、運動会 など）
- 「地域活動室」という専用の部屋が学校にあると、とても良い。
- 中学校では、内容が小学校とは様変わりする。中学生は勉強中心となるので、学校以外の静かな場所での学習支援も大切。「できない子を教える」のではなく、「やりたい子を教える」イメージ。
- 学校が楽をするために地域を活用しようと思っても、打合せに時間が取られ、気を遣うので躊躇してしまう。

～コメント(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏)～



◎ 「地域とともにある学校」は、今あるものを大切に！

- ・ 無理に新しく始めることはない
- ・ 地域の方が集まって、笑顔でいるのがよい！
- ・ 学校の課題解決 ⇒ 地域の大人・子どもの関わりを増やす
⇒ 人同士の交流が増える ⇒ 地域での関わりが増える
⇒ 結束力が高まって元気な地域に ⇒ 健全な子どもが育つ！ ⇒ 地域づくりにもつながる
- ・ 感染症流行が落ち着いてきており、書面から対面の活動が増えている。
- ・ 地域で、対面で話し合うことが大切。コロナ禍でコミュニケーションが減り、皆飢えている。

◎ コロナに慣れる・中止に慣れる のは絶対にダメ

- ・ 活動の自粛、「やらなくても…」という気持ちに慣れると、子どもたちの経験を奪うことに。5年後に、そのツケが来る。



- ・ 子どものごころに多様な経験をすることが、大人になってからの糧となる。
たとえば、不登校が長かった20代の若者が、子どもたちと一緒に地域の仕事を、とても楽しんでいる(子ども時代の経験を取り戻している)。



◎ 小学校・中学校では、地域協議会の活動の傾向が異なる。

- ・ 小学校：活動・体験が多い
→ 「振り返り」が大切
(「次、なににする？」と皆で話し、今度の活動につなげる)
- ・ 中学校：勉強がメイン
→ 子どもが主体的に動く場を設ける、社会参加させる
- ・ 地域が「中学生」を「15歳の市民」として扱う
⇒ 生徒が自身を「大人」だと感じる、地域に必要とされていると感じる ⇒ 大人に近づく



◎ 地域未来塾のような学習の場は大切！



- ・ 「学力を持った学生を、地域に戻す」ことが学校の役割
- ・ しかし、学校側はやる事がいっぱい
= 生徒の自習に集中して対応できる場面が少ない！
- ・ そのため、生徒が自習できる環境・仲間と学ぶ環境が必要
→ 集中力・学習意欲UP
- ・ これまでの図書館などに加え、さらに「地域で教えてもらった」体験を
- ・ プラスの取組み①：教えてもらった中学生が大人になった時サポートに回るような形を作ると良い。未来塾を受け卒業していく子に、早い段階で地域未来塾のサポートにまわるよう促す。
- ・ プラスの取組み②：生徒に「地域未来塾に関する意見」を聞き、反映してみる。
例) 学習する時間帯の希望、必要な支援方法 など
→ 生徒に意見を求めることで、生徒の主体的な学び・自己管理にも繋がる。

◎ 子どもたちの「コロナ禍でも、なにかしたい」という自主性・気持ちを生かす

例) 地域と中学生が関わる場で中学生から打ち上げ花火を提案(那須塩原市)

- ・ 協賛金を募る ⇒ お礼としてうちわを配布
- ・ 中学生がアルミ缶を30万円分集める。

⇒ 子どもたちを地域づくりに巻き込むような機会を設けることも大切！



☆主な意見☆(実施後アンケート)

- ・コロナ禍における活動について、とても参考になりました。
- ・グループのメンバーが教師、PTA会長、ベテランのコーディネーター、新人のコーディネーターでしたので、色々な立場から色々な意見が聞けて大変参考になりました。
- ・久しぶりに皆さんとお話ができて、心が楽になりました。地域独特な悩みや関わり方があり、興味深かったです。
- ・地域の人ができること、お願いしたいこと、続けていけることを考えるきっかけになりました。
- ・廣瀬先生の話、分かっていること、思っていること、改めて聞いて共感しました。
- ・コーディネーターさんの熱意をすごく感じました。
- ・学校の規模によりできることの違いがあると実感した。
- ・各校の事例を聞き、ヒントをいただきました。また、廣瀬先生のお話から、地域協議会の意義を改めて感じることができ、今後の意欲が高まりました。子どもたちの今、そして未来、また地域力の向上のため、頑張りたいと思います。
- ・情報交換ができてよかったです。人との距離感も大丈夫だったと思います。
- ・学校規模、校種別の班編成をしてくださってよかったです。
- ・本日は話し合われた内容を、学校管理職のみなさんにも伝えていただけるとうれしい。
- ・学習支援に力を入れている学校が増えていると感じました。講師の方の募集についていい意見が聞けました。子どもたちにたくさんの体験・学びは必要。
- ・活動アイディアや、工夫されたチラシなどを見てみたい。
- ・時間が足りませんでした…非常に有意義な時間でした。

参加者の皆様におかれましては、貴重なご意見を数多く出していただき、誠にありがとうございました。本通信の別紙として、「R2年度の活動・支出事例一覧」を添付いたします。各地域協議会での今後の活動の参考にしてください。

ご連絡① R3年度実績報告・R4年度事業計画等をご提出いただき、ありがとうございました

今年度の実績報告は、日程や方法の変更もあり、皆様にはお手数をおかけしました。2月21日から3月4日の9日間で、94の魅力協の皆様から書類の確認・お預かりをさせていただきました。お忙しいところご協力・ご対応いただき、大変ありがとうございました。

協議会の会議資料や広報誌など、まだご提出いただけていないところが若干ございますので、今一度ご確認をお願いいたします。また、生涯学習課担当から、細かな修正のお願いなどをさせていただく場合があります。

新年度の事業が円滑にスタートできるよう、担当一同準備を進めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご連絡② R3年度の活動事例集・広報用ウェットティッシュをお送りします

今年度も11校の地域協議会を取材させていただき、活動事例集を作成することができました。ご協力いただきありがとうございました。

このあと、広報用のウェットティッシュと合わせて学校宛てにお送りさせていただきます。感染症の流行が続く中ですが、活動の活性化にお役立ていただければ幸いです。

令和2年度に実施された 地域協議会の活動・支出事例

【別紙】

<学校教育活動>

分類	R2の活動事例	R2購入物品の例<OK>	これまでに相談があった例<NG>
全般	学校にボランティアを受け入れる	手指用消毒液, マスク(※忘れたとき), 非接触型体温計(※消耗品費は税込み1万円未満)	税込み1万円以上の物
教科授業の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語(書写, おはなし会 など) ・ 生活科・社会・理科(昔遊び, まち探検, 生き物探し, 生物の飼育, 夜空の観察 など) ・ 家庭科(ミシン点検, 手縫い・ミシン授業補助) ・ 図工(小学校:はんが補助, のこぎり補助 など) ・ 音楽(小学校:和楽器の演奏指導・補助) ・ 体育(プール監視・水泳指導, グランドゴルフ補助, ウォーキング補助) 	ボランティア作業用具(筆など), 校外見学時用の救急セット・経口補水液(※救急用に備える範囲での本数)	子どもたちが使用する用具, 材料
授業の準備・その他	プリント印刷, 給食指導, 研究授業時の校内見守り, 行事時の見回り, 教材販売補助, 学校 HP 更新, 夏休みの作品整理 など	印刷用インク, 学校評価用給食代(※「活力ある学校づくり活動」)	ふれあい給食や児童・生徒・保護者の給食代
クラブ・児童会など	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ活動支援(囲碁, 将棋, パソコン, 科学, ハンドメイド など) ・ 児童会・委員会活動の支援(行事の共催, 美化委員・図書委員の作業の補助 など) 		
学校行事	運動会, 入学式, 卒業式, 周年行事 など		卒業式に使用する賞状盆
読み聞かせ	朝・昼の読み聞かせ, 校内放送からの読み聞かせ, 動画を撮影しての読み聞かせ など	読み聞かせ用絵本(※学校図書としないこと), オンライン用マイク・カメラ	
清掃・環境整備	学級活動清掃の補助, 消毒作業, 遊具修繕・製作, カーテンの修繕・洗濯, 落ち葉掃き, 体育館窓ふき, 除草作業, ワックスがけ, トイレ清掃, リサイクル制服の整理 など	消毒液, マスク, 手袋, 箒, 熊手, 洗剤, ごみ袋, 刷毛, 作業用レインコート・サーキュレーター	学校遊具に塗るペンキ, 学校に設置するカーテンそのもの

分類	R2の活動事例	R2購入物品の例<OK>	これまでに相談があった例<NG>
農園・花壇	田植え・稲刈り準備, 畑づくり支援, 校内外の花壇整備, 樹木の剪定, グリーンカーテン, 学校で飼育するウサギなど生き物の世話の補助 など	ボランティア作業用具(鎌, くわ, スコップ, 軍手 など) 学校外に設置するプランター・苗・種など(※作業後の写真)	学校内や授業で用いるプランター・苗・種, 子どもたちが学校の授業や行事で使用する用具, 学校に飾る花
掲示	校内(場所:地域活動室, 図書室, 玄関など 内容:七夕やおひなさまなど)の掲示 など	工作用具, 材料(※作成物の写真)	
図書	蔵書整理, カバーかけ, 図書の修繕, おすすめ本の紹介 など	図書のカバーかけ・修繕に使用する用具(へらなど)	学校図書に付く物(ブックカバーなど)

<その他の活動>

分類	R2の活動事例	R2購入物品の例<OK>	これまでに相談があった例<NG>
健全育成活動	あいさつや交通安全など標語の募集・授賞式, サマースクール(工作など) など	標語看板, 看板設置用保険料, 標語受賞者への表彰状・高価すぎない額縁	標語受賞者への粗品代, 持ち帰る物の材料代(※参加者負担)
安全確保活動	登下校時の見守り・あいさつ運動, 安全指導, 交通安全教室, 地域の安全マップ作製, 地域パトロール, 子ども110番の家への訪問 など	パトロール用夜光ベスト, 横断旗(※地域協議会からの貸出)	
家庭教育活動	・ 保護者との活動: 工作教室, 清掃活動, コンサート, 体操 など ・ 保護者対象の活動: 親学講座(子育て, 地域や学校の安全, スマホ・ケータイ など)	講師謝金	講師への花代 飲食・持ち帰る物の材料代(※参加者負担)
地域教育活動	・ 地域の人との活動: すず払い, もちつき, ウォークラリー, 防災訓練, 動植物の飼育・観察, 花火大会, 焼き芋大会, 地域未来会議, 放課後子ども教室との連携, 写真展, 清掃活動 など ・ 地域の人対象の活動: 講演会・勉強会(地域の安全), パトロール連絡会議, 地域カレンダー発行 など	講師謝金, 地域カレンダー印刷代, 会場借上げ料	参加者の材料代・保険料(※参加者負担)
学習支援	実施時期: 水曜日放課後, 土曜日, 長期休業期間 など	講師・学習サポーター謝金	子どもたちが使用する教材代
広報活動	たよりの発行, 各ボランティアへの連絡, 「あいさつ運動」のぼり作成, ティッシュの配布 など	印刷用インク, 印刷発注代, のぼり	※広報用ティッシュは生涯学習課までご連絡ください。

※ こちらは一例を掲載しております。実際に支出する際には「事務の手引き」を参照いただき、不明点などがありましたら生涯学習課までお気軽にお問い合わせください。